

## 四国電力株式会社伊方発電所3号機 令和2年度 原子力規制検査の総合的な評価について

令和2年度に原子力規制庁が四国電力株式会社伊方発電所3号機において実施した原子力規制検査の結果に関して、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第61条の2の2第7項に基づく総合的な評価は以下のとおりである。

### 1. 令和2年度 原子力規制検査等の結果

原子力規制庁は、令和2年度において事業者の安全活動に関して基本検査を実施した。その結果は以下のとおりである。

#### (1) 原子力規制検査の結果

基本検査を実施し、以下の検査指摘事項3件が確認された。

##### 【原子力施設安全及び放射線安全関係】

○伊方発電所3号機 海水管トレンチ室内における不適切なケーブル敷設による火災影響軽減対策の不備（緑、S L IV）【第2四半期】

海水ポンプの制御ケーブルを収納しているケーブルトレイにむき出しの換気空調用のケーブルが入線していた。

○伊方発電所3号機 制御盤室内における感知器の不適切な箇所への設置による火災感知機能の信頼性低下（緑、S L IV）【第2四半期】

制御盤室内天井の自動火災感知器（熱感知）が換気口空気吹き出し部に近接して設置されていた。

##### 【核物質防護関係】

○伊方発電所における物理的防護に関する検査指摘事項（緑、S L IV）【第4四半期】

#### (2) 安全実績指標の結果

安全実績指標について、評価対象となった項目は年間を通じて「緑」の状態であった。

#### (3) その他事項

なし

### 2. 総合的な評価

令和2年度においては、検査指摘事項が3件確認されたが、いずれも安全重要度及び深刻度が「緑、S L IV」であり、安全実績指標は年間を通じて「緑」であった。

また、各監視領域での活動目的の達成に向けた改善活動には、検査指摘事項の是正活動も含めて、特段の問題は確認されなかった。

対応区分は年間を通じて第1区分であり、各監視領域における活動目的は満足していることから、パフォーマンスの劣化が生じても自律的な改善が見込める状態であると評価する。

### 3. 次年度以降の検査計画

令和3年度の原子力規制検査は、令和2年度を通じて対応区分が第1区分であることから、引き続き第1区分とし、基本検査を行うこととする。

検査計画については、以下の原子力規制委員会ホームページを参照。

#### ○検査計画一覧

[https://www2.nsr.go.jp/activity/regulation/kiseikensa/joukyou/plan\\_ichiran.html](https://www2.nsr.go.jp/activity/regulation/kiseikensa/joukyou/plan_ichiran.html)